
メリーポピンズ稲城ルーム

令和5（2023）年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

株式会社 学研データサービス



1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)「にんげん力」を身に付けるために必要な遊び・野外体験を提案実践し”自分で考え、行動する思考”を育みます。 2)10よりも100の経験を与え、子どもが”したいと思う活動”を安全に行えるように見守り、支援してゆきます。 3)”感じたこと・考えたこと”を言葉でジェスチャーで、表情で、描いて、造って、表現できる子どもを育成します。 4)「0を1にかえる力」を日本中の子ども達につけ、物事を投げ出さずに向き合う若者が社会を支える世の中を創ります。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育現場で求める人物像 現状に満足せず自己の成長を常に意識している人 やって見せてあげて背中であげていける人 より良い保育を目指して創意工夫していける人 ・社会人としての質向上 忙しさや大変さを表情や口調に出さず、いつでも笑顔で心がける。お願いします、ありがとうございます、など仕事中の言葉遣いに注意し、正しい日本語を身に付ける。子ども全体を見て自分が今、何をすれば良いのかを判断して、自ら行動したり、提案する。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士としての質向上 子どもの命を預かる重みを自覚し、守らなければいけないことを遵守し、常に平常心で子どもと接する。後輩には自分の知識を教え、育てる気持ちを持ち、一人ひとりがリーダーになるという気持ちで責任を持って保育を行う。

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	どろんこ会グループの系列園共通の保育方針が園内で浸透され、それを基にした保育実践が徹底されています
	内容	どろんこ会グループの理念「にんげん力。育てます。」をはじめ、子育て目標、運営理念が系列園に浸透されています。それらが実践されていることが、本園においてもさまざまな活動に強く表れています。裸足の保育や自然との触れ合い、異年齢保育やインクルーシブ保育等々において、生き生きと遊び、学ぶ子どもたちの表情からも、グループの考え方が見取れます。園の運営面においても、グループ共通の種々のマニュアルが整備され、保育業務の基本や衛生管理、リスク対応等々において業務の標準化が高いレベルでなされています。
2	タイトル	専用アプリでの発信やマニュアルにより、全職員が業務の標準化と情報の共有を行い、どろんこ会グループ理念に沿った保育を展開しています
	内容	本部から全職員にスマートフォンが貸与され、職員は常に重要事項や日頃の保育の情報を確認できます。月案、週案、日案はアプリで閲覧が可能になっていて、特に申し送り共有事項は早番遅番時の保護者対応の際に活用しています。保護者には日々の園での様子をタイムラインで発信し、体験活動、行事の案内、連絡事項のほかに各おたよりもアプリで確認できるようになっています。また、どろんこ会グループ共通の保育運営マニュアルは各園に配付、保育品質マニュアルは全職員に配付され、マニュアル遵守による安全で一環したサービスを提供しています。
3	タイトル	異年齢保育、インクルーシブ保育により、子どもが多様な個性を受け入れることを学び、「にんげん力」の素地を培っています
	内容	年上、年下の子ども同士では、思いやりと憧れの気持ちで互いの関係性を深め、さまざまな学びが得られています。また、支援が必要な子どもにはあえて担当者を決めていません。職員全員がその子どもの健康状態、発達状態に配慮しつつ、周囲と溶け込むこと、本人自らが選んでやってみることができるように「混ざる」と「自己決定」を援助しています。このような環境により、子どもたちは年齢の違いや障害のあるなしに関わらず互いを受け入れて生活を共にしています。その関わり作りの中で、生活、遊び、労働を学び合える保育が実践されています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	大規模災害に対しては、命を守る対策に加え、保育事業や地域の子育て支援の継続、復旧の観点でのさらなる計画の充実を期待します
	内容	リスクへの対応の中で、特に命に関わる大規模災害に対しては「クライシスマニュアル」が整備されています。この中に発生直後から時間を追った形で、本部と職員、保護者の連携による連絡体制、安否確認、情報共有などについて明記され、園を基点とした安全確保の仕組みについて詳しく定めてあります。これは本部共通のマニュアルとして、系列園に徹底した周知がなされています。今後は、働く保護者の子育て支援という観点からも、園業務の継続、復旧についての行程、それらに向けての日常の準備などについて、内容のさらなる充実を期待します。
2	タイトル	本園と分園の関係性をさらに深め、同じ保育目標に向けて交流活動などを多様に企画し、本園と分園の2園体制を強みとされることを望みます
	内容	園は、0～5歳児対象の本園と、最寄りの駅向かいにある0～2歳児対象の分園とで構成されています。本園の目と鼻の先にある分園は、2歳児がやがて本園に3歳児として合流します。このことから、スムーズなつながりとなるよう、日常での交流や、職員の配置などに工夫を重ねてきました。今後はさらに、園でも課題としているように、本園と分園があることを強みとする取り組みが望まれます。合同の活動機会を増やすなど、事業計画、保育計画の段階から話し合い、本園と分園の相乗効果で保育の質がよりアップするような取り組みを期待します。
3	タイトル	活発に行っている地域の子育て支援活動ですが、この活動に対して地域の認知を得るためのさらなる工夫に期待します
	内容	園の地域交流、地域貢献活動で代表的なもの1つに、子育て相談や自然食堂など、さまざまなイベントを開催している「ちきんえっぐ」が挙げられます。活性化しており、加えて市のホームページの地域カレンダーへの掲載などの告知で、参加人数は増えてきました。しかしながら、これらの活動については、地域に十分に根付いた認知を得たと言えるに至っていません。このことは園も課題として認識し、散歩先の公園でのパンフレット配布などを検討しています。選ばれる園としての特徴を広く認知すべく、活発な告知の案出と実践が望まれます。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル①	地域に根ざした園としての位置付けを確立すべく、地域活動の活発化を進めています	
内容①	園では、近隣の商店街を見学する商店街ツアー、高齢者施設への訪問、育児体験や職業体験での中学生との触れ合いなど、積極的な地域交流を進めています。また、園庭開放や子育て相談、自然食堂や青空保育など豊富な活動イベントが用意された「ちきんえっぐ」で、地域の子育て支援にも力を注いでいます。コロナ禍による制限と闘いながら、工夫を重ねて取り組んできましたが、同感染症の5類移行で今年度から本格稼働が再開となりました。これら地域活動については、他園と協働の新たな活動も視野に入れ、拡充を図っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル②	種々の安全対策を集中的に行い、けがや事故の撲滅に努めています	
内容②	日常のけが予防を中心とした安全強化に力を入れています。園では発達支援の必要な子どもが一定数いることもあり、けがの多さが懸念されたことから、具体的な安全対策を考え、集中的に講じてきました。子ども同士込み合う場所にはビブスを着けて全体の見守り役となる職員を配置したり、ハザードマップの見直し頻度を多くしたりしました。また、発生した事故についての分析と再発防止策の検討、事故報告書の全員共有などを徹底して行っています。これらにより職員は、子どもの行動を予測するスキルも身に付け、さらなるけがの減少に努めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	食育活動では計画段階から一貫して、子どもの食への関心に重点を置いています	
内容③	全体的な計画に食育の推進の項目があり、それに基づき食育計画を立案しています。食育計画表には子どもの姿、内容、調理保育、保育者との関わり、家庭支援について年齢別に掲載されています。どろんこ会グループで植え付けから収穫、精米、発送まで行う給食米の自給自足を実現し、園では毎日午前中は畑仕事を行っています。畑を耕し、苗を植え、水やり、間引き、収穫を行った野菜が給食の食材となり、収穫した野菜を使って毎月1回は子どもたちが調理して食す食育活動を行っています。食材を育て、収穫、調理する経験を食への関心につなげています。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	グループ共通の保育理念や保育目標は、多様な機会でも周知し浸透を図っています 保育理念「にんげん力。育てます。」、2大保育目標「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」が、玄関掲示とともにホームページ、入園のしおり、保育品質マニュアル、全体的な計画などに打ち出されています。これらはどろんこ会グループ共通の、保育活動の基盤となる考え方として、職員には年度ごとの全体計画策定会議やキックオフミーティング、そのほか各種会議などで確認し、理解を深めています。保護者に対しても園見学時や入園説明会、保護者懇談会などさまざまな機会を通じて説明する場を設け、浸透に努めています。 施設長は、グループ理念の実現のための責任者として園の保育をリードしています グループ理念・目標に加えて園は毎年、独自の保育目標を策定しています。今年度も「子どもも大人も遊びつくそう」をはじめ3つの目標を立てています。分園を伴った園運営の中心として、経営層である施設長と主任は、これらの考え方を具体的に実践していくための方向性を、事業計画、保育指導計画に沿って年間を通じて伝えていきます。理念や目標の実現のために施設長は、子ども主体の保育になっているかを常に振り返り確認することが大切であることを職員に伝え、日常の保育の中でもアドバイスを与えながら、園の運営をリードしています。 重要案件は、内容により本部または園会議で検討し、本部が決定または承認します 職員人事や処遇など、系列園全体に関わる案件は本部が検討し決定します。コロナ禍の動向への対応についても、本部が市の情報ともすり合わせながら決定しました。行事など園個別の案件については経営層で検討し、最終的に本部の承認を受けます。決定事項は、そのプロセスも合わせて、職員会議で周知しています。全職員で共有できるように、出席していない職員には議事録回覧や、内容によっては口頭伝達などで伝えていきます。保護者に対しては、随時おたよりを配付したり、アプリ配信のうえ必要に応じて改めてお迎え時などでも伝えたりしています。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>保護者や職員の意向は、さまざまな機会を設けて把握し検討しています</p> <p>保護者の意向については、日常は連絡帳アプリや送迎時のコミュニケーションなどで把握に努めています。また保護者懇談会や必要に応じて個人面談を行うほか、WEBや電話による「ご意見・ご提案デスク」体制、年1回の利用者アンケート、玄関設置のご意見箱など多様な手段で収集し把握しています。それらについては「ご意見ご提案シート」に記載して、検討しています。職員の意向は、個人面談や各種会議での意見聴取のほか、毎年行う職員の意向調査、及び本部に対する意向を調査する職員アンケートなどで把握しています。</p> <p>行政や関係機関、本部の社内報などから子育てに関するニーズを把握しています</p> <p>子育ての現況や保育事業の動向については、市のホームページやメール、関係機関での連絡会、本部の社内報などにより、地域の子育ての実態とニーズから全国の状況に至るまで把握しています。地域においては、コロナ禍の収束に向けての子育て支援の再活性化を、切実な保護者ニーズと捉えています。また、保育事業の動向としては、少子化が進む中での園児数の確保が課題となっていることと、そのために選ばれる園としての独自性をどのように持つか、そしてそれを地域にいかにかにアピールしていくか、これらを園の課題としても捉えています。</p> <p>運営本部の方針のもと、中期計画と単年度計画を連動させた事業計画を作成しています</p> <p>事業計画は、運営本部の方針を基に作成しています。中期計画は3か年計画ですが毎年見直され、年度ごとに活動内容を振り返り、常に当年度から3か年の計画としています。それを踏まえて具体的な単年度計画が策定されています。単年度計画では、大もとの基本方針、保育方針、及び危機管理、地域連携など9つの柱にわたって、活動内容が表や箇条書きでわかりやすく示されています。計画の振り返りは、主に年度替わりに向けての計画策定会議で行います。保育の質の面での達成度は、各職員との面談による活動状況、成果の把握を基に判断しています。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

職員の心得については多様な機会でも周知、振り返りを行いながら遵守に努めています

職員として守るべきルールや倫理などは、就業規則、保育品質マニュアルなどに明記されています。個人情報の扱いを含めたこれらの内容については、職員は入社時に本部の研修を受け、守秘義務についての誓約書を交わしています。また年2回、「児童・保護者の人権に関するチェックリスト」を用いて振り返りを行うとともに、毎月の職員会議などで随時確認を行い、深い理解と遵守に努めています。このほか、オンラインによる情報セキュリティーチェックやコンプライアンスチェックも定期的を実施し、全職員について遵守状況を確認しています。

苦情解決や虐待防止については、対応の仕組みが整えられています

園への意見や苦情に関しては、入園のしおりに受け付け担当者や第三者委員など園内外の相談先、玄関へのご意見箱の設置、解決までの仕組みなどを記載し、入園時に保護者に説明しています。また「ご意見・ご提案シート」で解決に至るまでを記録、回覧し全職員が共有しています。虐待の防止については、マニュアルを確認する機会を随時設けて人権尊重の意識を深め、職員同士で注意を払っています。家庭での虐待の疑いが見られた場合は、まず本部の担当課長に報告・相談して対応の指示を受け、必要に応じて関係機関と連携しています。

地域の子育て支援活動は、「ちきんえっぐ」を中心に充実と告知に努めています

地域の子育て支援の拠点とした活動「ちきんえっぐ」を毎月、月曜日から土曜日にかけて行っています。園庭開放や子育て相談をベースに、自然食堂や青空保育、寺親屋、自然学校など、食、自然との触れ合いや創作活動、子育てに関する学びなどについて、さまざまな体験ができるイベント活動を計画しています。これらはホームページの「ちきんえっぐだより」や、市の「地域カレンダー」への掲載などで告知を行い、参加者も増えています。また、市の関係機関との交流もあるので、他園との連携を視野に入れた新たな地域活動も検討段階にあります。

カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>リスクに対してはグループ共通のマニュアルを整備し、職員の周知と理解に努めています</p> <p>リスクについては、その種類でなく、命の安全を第一に考えています。想定される被害の深刻さや、現実的に起こり得る可能性や頻度などを勘案して、災害や事故、感染症、不審者の侵入など多様な観点からどろんこ会グループ共通のマニュアルを整備しています。そして、防止や発生時の迅速、適切な対応への備えに努めています。具体的には、事故やけが、災害などへの対応を示した危機管理マニュアルや、感染症マニュアル、大規模な災害を想定したクライシスマニュアルなどが整備されています。マニュアルは毎年、職員全員が再読し理解を深めています。</p> <p>リスクへの対応方針に沿って種々の訓練や実践、チェック体制を整えています</p> <p>リスク対策として、マニュアルの整備と理解に加え、その実効性を高めるべく、毎月さまざまなリスク発生をシミュレートしての避難訓練とその振り返りを行っています。また、事故記録簿、インシデント報告書、ヒヤリハット報告書なども整備され、これらについては原因究明とともに、再発防止への手立ても記述し、職員全員で共有する仕組みになっています。昨今各地で話題になった他園での園児見失いや置き去り事故に関しては、防止策として戸外活動時には人数確認リーダーを定め、確認の際はダブルチェックで行うことを徹底しています。</p> <p>守秘情報は、管理体制の徹底的な周知とその実践に努めています</p> <p>個人情報を含む守秘情報の管理については、職員は入職時に保育品質マニュアルに沿って学び、誓約書を交し、全員が4月1日から実践できる体制にしています。また年2回、オンラインでの情報セキュリティーチェックも行っています。外部の実習生などからも、同意書を受けています。文書情報は施設長が施錠管理する書庫で保管し、デジタルデータはパスワードでアクセス制限をかけ、USBメモリーの使用は一切禁止しています。個人情報の使用については、情報公開要綱が定められていて、保護者にはオンラインで周知し、同意の確認をとっています。</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

職員の採用は本部人事採用部が行い、園の育成方針を重視して人材配置を行っています

職員採用は、基本的に本部人事採用部が一括して行っています。どろんこ会グループのホームページを中心に保育の特徴や職場としての魅力、系列園の紹介などを打ち出し、応募者を募っています。そのほか、職員の紹介や、中途採用者対象のWeb説明会なども行い、グループ理念に共感できる人材を広く求めています。職員の配置は個人面談により本人の意向も重視しながら、施設長と本部の運営部課長が個性や能力、成長を期待する点、現場のニーズなどを相談し、決定します。リーダーとして、後輩を育てられる人材の育成に重点を置いています。

職員に対しては本人の納得を重視した育成が行われ、充実した研修も用意されています

どろんこ会グループにおける一貫した人事制度が定められ、等級ごとに職務や職責、求められる人物像などが処遇や考課と連動して示されています。職員は入職時に説明を受け、自分の将来像と努力の方向性を見出せる仕組みが整っています。職員個々の育成はオンラインシステムを使った目標管理型で、上司との面談による双方納得を重視して行われています。研修については内部研修に加え、毎月本部で行う「子育て(保育)の質を上げる会議」、また関連法人が開設しているオンライン研修の受講等々があり、スキルアップの機会の充実を図っています。

職員の主体性を重視した園運営を行い、チームワークの向上を図っています

職員に対しては、個人の年度目標を基に、期中と期末の面接及び、評価結果のフィードバック面接が行われます。この時、施設長は業務負担その他の相談や悩み事なども聴取します。その中で褒めるべきことは褒め、ねぎらい、職員の気持ちに寄り添うことを心がけて改善を検討しています。また、各種計画書の作成では担当職員中心でリーダーがサポートする体制に任せています。さらに生活発表会などの行事はリーダー層中心に計画・運営させるなど、施設長はアドバイス役に徹することで主体性を育み、チーム力、組織力の向上に努めています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保育内容の充実と質の向上を実現するための一環として、安全面での対策強化に取り組みました。具体的には、「安全に目が行き届く体制作りとして、その役割を明確に担うスタッフ起用をする事」「ハザードマップのより緻密な更新と、それに対する全職員の周知と理解を図る事」「月1回の事故防止委員会の内容の充実を図ること」でした。安全体制では、ビブスを着けてお迎え時や散歩時などの際に全体を見守る職員を立てました。ハザードマップでは、3か月に1度の更新ペースを決めました。事故防止委員会では、安全体制強化とハザードマップの更新頻度を上げた結果どうなったかの検証と再発防止の検討を徹底的に行いました。その結果、子どものけがが以前の3分の1くらいに減り、けがの程度においても軽微なものがほとんど、といった状況にまで改善ができました。取り組みについては随時振り返りを行いました。その中で、見守り役については、適切な声かけをするためのスキルをさらに身に付ける必要性、また、保育室の遊びの動と静のゾーン分けと安全対策のバランスの検討などが課題となりました。今年度はこれらへの検討を加えながら、ブラッシュアップして取り組んでいます。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園として、安全面には注意を払っていましたが、その割には子どものけがが多いのではないか、との自己反省がありました。そこで、安全対策に対してゼロからの視点で見直し、取り組み内容を決めました。見守り役の設定は、夕方のお迎えラッシュ時に、その場を俯瞰して注意を払う役割がいなかったことへの着目がきっかけでした。これはお迎え時だけでなく、よりリスクの高い公園の散歩時などでも有効と捉えて実践しました。ハザードマップについては、以前より課題意識もあったので、定期的な見直し体制を敷きました。検討は、現時点のマップを中心に職員同士が直近での経験などを基に話し合い、気づいた個所に付箋をはりながら、新たな危険箇所や回避の仕方を共有しました。それらに加えて、取り組み実践の振り返りのつど、検証と防止の検討を行いました。結果として一定の成果が得られたと言えますが、園としては、けがはまだゼロでなく、あってはいけないものであり、まだ改善が必要との認識です。しかしながら、今期継続して取り組む中でも安全性が向上している感触があります。子どもたちも互いに安全に注意を払い声をかけ合う姿が見られ、子ども同士の新たな形での対話も生まれています。

<p>評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>「作る」と「食べる」をつなげる食育の推進として、二つのテーマの実践に取り組みました。一つ目は子どもたちに、調理や栽培に関わってもらおうこと。子どもたちに米研ぎや野菜の皮むきから、さつまいもなどの栽培にまで関わってもらい、この様子を保護者にも見てもらうことを毎月の食育行事としました。二つ目は、レシピの共有です。園で子どもが気に入った献立のレシピを家庭に自由に持ち帰ってもらったり、特に子どもが「おいしいからお母さんに教えたい」と言うほど好評なレシピは、玄関に掲示しました。また、朝食が進まないという家庭のために、朝ご飯用として家庭から自慢のレシピを募ってお知らせしたりしました。これらの取り組みを通して、子ども一人ひとりを見た時に、好き嫌いが改善できている、食べる量そのものが増えてきている、残渣が減ってきている、という変化が見られました。取り組み活動の振り返りは、食育行事ごとに保護者から聞き取りを行い、それを基に職員の意見を出し合い、次回に生かす形をとりました。今後は、調理部門が主体で行う食育、コンポスト作りを実施した循環型の食育も、本園、分園とも目指していきます。</p>	
<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>どろんこ会グループの方針の一つに、「どろんこの食育」として、「意欲と、食らいつく食欲を。そして体験を通じて、生命と食の循環を知る。」とあります。その考え方に結び付く活動として、この取り組みは位置付けられます。日頃よりおいしい給食を目指して好評が得られてはいるものの、食べ残しが気にかかっていました。乳児にはもっと食べることに興味関心を持ってほしい、幼児には目の前の食事がどんな食材を使い、どんな過程で作られているのか知る機会を作りたい、といった思いが取り組みの背景にありました。子どもたちの調理や栽培との関わりについては、その様子を保護者に見てもらおうことも大きなポイントでした。それは、活動に保護者を巻き込む展開にすることがねらいでした。これがもう一つの取り組みである、おいしいレシピを家庭と共有することへの伏線にもなっています。振り返りについては毎月、子どもの様子の観察と保護者からの意見聴取によって行いました。今後も、活動内容と得られた成果の因果関係についての検証をさらに深めるとともに、新たな観点での食との関連活動を取り入れながら、取り組みをさらに健康的な食生活につながる食育にしていこうと期待されます。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(0000)</p>		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
サブカテゴリ-1の講評		
<p>園の理念や基本情報については、パンフレットやホームページなどで提供しています</p> <p>園の情報についてはパンフレットの中に、どろんこ会グループ共通の理念や子育て目標などの子育てについての方針、それらを踏まえての具体的な活動内容、必要な手続きなどの情報が詳細に掲載されています。園のホームページにおいても、基本情報、実施事業、利用料金、関連施設である地域子育て支援カフェ「ちぎんえっぐ」についてなどを紹介しています。また、市のホームページの認可保育所一覧では、本園・分園ともに住所、電話番号、ファックス番号、施設の案内が掲載され、園のホームページにリンクしています。</p> <p>行政や関係機関による情報発信と連携して、園の活動情報を提供しています</p> <p>園の活動情報は行政や関係機関とも連携して伝えています。自治体のホームページで、子ども家庭支援センターのイベント情報の地域カレンダーを検索すると、全地域版と個別地域版の予定が掲載されています。その中に子育て支援「ちぎんえっぐ」の各予定について、近隣の保育園のイベントとともに自然食堂、青空保育、自然学校、寺親屋の開催予定日時が掲載されています。また、ホームページにはできるだけ園の様子がわかる写真や説明を掲載し、必要に応じて市役所や児童館、子育て拠点などにチラシを置いています。</p> <p>保護者に寄り添った対応を心がけ、園内を案内したり問い合わせに応じたりしています</p> <p>見学希望の保護者には、希望に沿った日時で個々にていねいな対応を心がけています。園の都合ではなく保護者の都合に合わせて日程、時間を調整するよう全職員で共有しています。突然の来園でも入園のしおりを渡すだけでなく、個々の実情に沿った説明など可能な限り対応しています。特に見学時間の要望がない場合は、散歩出発の時間と重ならないように午前9時半以降の見学を案内しています。月曜日から金曜日の見学の都合がつかない場合は土曜日の見学も受け入れています。本園の後に分園の見学も実施しています。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入所前面談や説明会を行い、子どもの情報を保護者と確認し同意を得ています</p> <p>入所前面談にて入園のしおりに沿って、ていねいに説明しています。特に利用料金、延長保育予約にかかる部分については、誤解のないように説明しています。最後に重要事項説明書を用いて職員が読み上げ保護者が一つひとつ確認し署名、捺印して同意を得ています。保護者の意向や子どもの個性、配慮すべき点、アレルギーの有無等は面談票に詳しく記載して会議などで職員に周知し、情報を共有しています。子どもの基本情報は専用アプリの登録フォームに収集し、記録は個人ファイルを作成して保管しています。</p> <p>入園当初は、子どもが無理なく園での生活に慣れるように配慮しています</p> <p>0～2歳児は子どもに合わせた期間の慣れ保育を行い、同じ保育士が対応するなどして個々に合わせて環境に慣れるようにしています。慣れ保育は保護者の要望に合わせて2時間、昼食まで、と段階的に進め通常1、2週間で終了します。また保護者の状況が許す場合は、親子で登園して一緒に過ごす保育参加を推奨しており、保護者から好評を得ています。連絡帳やタイムライン、送迎時での保護者の話の傾聴で子どもや家庭の状態を把握し、子どもに合わせた対応に努めています。また、子どもの様子を職員で共有して送迎の際に保護者に伝えています。</p> <p>転園、卒園した子どもに対しては成長を応援し見守っています</p> <p>保護者から要望があった場合は、転園先に子どもの情報を保護者同意のうえで提供する場合があります。また4月に市の小学1年生の教師と幼稚園、保育園の園長との連絡会があり、入学に際しての意見交換が行われます。それを受けて、園での1回目の保護者懇談会で施設長は保護者に小学校入学を意識してもらいます。園での運動会で卒園生向けのプログラムを用意したり、小学校2年生の生活科体験で卒園生が来園したり、入学予定の近隣の小学校の学習発表会に招待されたりと、小学校入学への不安を軽減し期待を膨らませる取り組みをしています。</p>		

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当
サブカテゴリー3の講評		
全体的な計画を基に年間、月間、週の指導計画を作成し保護者に周知しています 保育の内容に関する全体的な計画には養護と教育の一体化、健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域における各年齢のねらい及び内容並びに配慮事項が記載されています。それを基に年間指導計画、月間保育計画、週間指導計画、週案、日案を作成しています。毎年4月1日に全保護者にアプリで全体的な計画、年間指導計画を配信し周知しています。また6、11月の年2回の保護者懇談会において第1回目の全体会で施設長が園目標を伝えます。クラス懇談会では担任がクラスの目標、ねらい、活動内容、現在の子どもの様子について伝えています。 指導計画は子どもの状況に応じて、日々見直しをして職員で共有しています 週1回午睡時間に行われるクラス会議、乳児会議、幼児会議では、子どもの様子を話し合いながら週間指導計画を立てます。個々の発達に応じた個別の計画を立て、全職員で共有しています。年間指導計画は各担任が期ごとに振り返りと反省を行い、それらについては施設長や主任が確認しています。月案や週案、日案は前月の20日頃までに作成し、25日までに主任、施設長が承認しています。全職員がアプリによって月案、週案、日案を閲覧可能にしており、重要事項については乳幼児会議や園会議で確認し共有しています。 子どもの状況などに関する情報を職員間で申し送り、引き継ぎしています 月1回のケース会議において、個別的な計画の見直しを行っています。前月と比べて成長した点、現在の気になる点、今後の援助について話し合い、ファイルにして全職員が共有できるよう押印で確認します。子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報は職員間で申し送り、引き継ぎをしています。シッター兼お迎え伝達ノートに朝の受け入れ時の子どもの様子や保護者からの伝言を記入し、お迎え時に園での様子や特筆すべきこと、その他連絡事項を記入しています。伝達ノートには記入者と伝達者のサインをして漏れが出ない仕組みをとっています。		

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>個人情報の取り扱いにおいては保護者の同意を得て、プライバシーを保護しています</p> <p>個人情報の保護の重要性に鑑み、その取り扱いについては保護者に同意を得ています。子ども、保護者、家庭に関する情報を適正に使用、利用、管理するとともに正確性、機密性の保持に努めています。情報収集の目的、種類をはっきりと示し、写真や動画などの取り扱い方針についても保護者に確認のうえで同意を得ています。また園では、子どもの安全確保、誤与薬防止のために、一人ひとりに名札の継続使用をお願いしていますが、戸外活動などで公の場所を歩く際には、個人情報保護の観点から名札を裏返すようにしています。</p> <p>子どもの人権を尊重し、羞恥心に配慮した保育を実践しています</p> <p>子どもの名前を呼ぶ時は呼び捨てやあだ名ではなく、必ず敬称を付けて呼ぶようにしています。子どもが遊びの中で興味を示したことはできるだけ見守り、活動に取り組んでいる際は安全を確保し、必要最低限の補助を行っています。4月、10月に児童・保護者の人権に関するチェックを全職員が実施し、児童・保護者の人権について確認するとともに自身の保育と照らし合わせて個々の子どもを尊重した保育を心がけています。おむつ替え、おもらしやおねしょをした際は子どもの羞恥心に配慮し、衝立を置き、ほかの子どもから見えない所で着替えています。</p> <p>虐待防止に努め研修に参加して職員の意識を高めています</p> <p>重要事項説明書にも、虐待防止のための措置についての記載があります。これを含め、子どもの人権の擁護および虐待防止を図るため、職員の意識強化に努めています。保護者への言葉かけや積極的なコミュニケーションによる虐待の早期発見や発生防止、速やかに自治体の関係機関に連絡を行うことなど、早期に対応に当たるための園の体制について、職員会議などで周知を図っています。虐待の定義は虐待防止マニュアルに定めており、全職員は虐待について研修を受けるとともに、チェックリストを活用して保育の中での虐待防止について理解を深めています。</p>		

サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直し取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ-6の講評		
<p>保育運営マニュアル、保育品質マニュアルを活用して業務の標準化を図っています</p> <p>どろんこ会グループ共通の「保育運営マニュアル」が各園に1部ずつ配備されており、それを基に標準化された業務を行う仕組みができています。衛生管理、感染症、危機管理、虐待対応、苦情対応、保健、食育、給食提供などについて記載され、園会議や内部研修で活用しています。また「保育品質マニュアル」は全職員に配付されていて日常携帯しており、内容の共通理解が図られています。これらのマニュアル内容を一人ひとりが遵守することで、安全でグループ理念、方針、目的に沿ったサービスを提供する仕組みを整えています。</p> <p>本部による内部監査、外部機関による審査等で業務水準の確保と向上に努めています</p> <p>実施1か月前に予告したうえで年に2回、本部の内部監査室より内部監査が行われます。命や安全に関わること、保育内容、保育環境などがマニュアル通りに実施できているかの確認を第三者的な視点で行っています。内部監査の終了後、1週間以内には是正計画書を作成し、1か月以内に是正を実施して報告書を提出しています。そのほかにも各種ISO審査や東京都福祉サービス第三者評価を定期的に受審しています。保育品質マニュアルにおいては、本部から見直し箇所について提案され、精査したうえで年1回見直しています。</p> <p>全職員が保育品質マニュアルを日々の保育に役立てています</p> <p>保育品質マニュアルに掲載されている内容のうち、けが、病気、衛生管理などについての対応フローチャートは、保育室内に掲示またはリング止めをして常に確認できるように設置し、すぐに緊急対応に生かせるようにしています。また、マニュアルで定められた事故防止チェックリストや設備点検チェックリストを用いて、定期的の実施漏れがないかを確認しています。職員は勤務時において、保育品質マニュアルを座右の書として常に活用しています。保育運営マニュアルは事務所に常時保管して、職員がいつでも閲覧できるような状態にしています。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>子ども一人ひとりの発達に合わせた保育を実践しています</p> <p>入所前児童面談票を基に園児台帳を作成したうえで、個別計画、個別記録、個別省察についてクラス会議、ケース会議、園会議で話し合っています。月間個別指導計画に基づいて目標を定め、一人ひとりの前月の姿から今月の個別計画を立て、記録を基に省察しています。日々の保育の中でも必要があれば計画を変更しています。また特別な配慮が必要な子どもの保育にあたってはケース会議などを実施して、子どもたちが無理なく互いに関わるような対応の検討、及び行事や活動の選択肢を広げて子どもが互いに認め合える環境作りを努めています。</p> <p>子どもが主体的に遊べるように保育室を工夫し、子どもの気持ちに寄り添っています</p> <p>乳児、幼児ともにコーナーを設置して、好きな遊びを選んで遊びこめるように工夫しています。静と動のスペースに分けたうえで絵本、ブロック、お絵描き、飼育コーナーを設置して、子どもが主体的に遊べる環境作りを大切にしています。すなわち、園舎という大きな家で子どもの意思で活動を選択して、頼りたい相手、遊びたい相手、遊びたい場所を選択し行動できるようにするために、ゾーン保育を行っています。そして各クラス会議に主任が参加して子どもの興味、関心に合わせて定期的に環境の見直しを図っています。</p> <p>園と小学校との円滑な接続のために、お互いに連携した取り組みを行っています</p> <p>園と近隣小学校とで5歳児と小学校1年生との年間連携計画を立てて、円滑な接続を図っています。アプローチカリキュラムを作成したり、5歳児が小学校に行く機会を設け、展覧会見学、授業体験に参加したりして小学校1年生との子ども同士の交流の場を設けています。また保育園での保育内容、小学校での教育内容をそれぞれの職員が理解し合える場を設け、相互に関連し連携するために工夫する機会を作るように予定しています。保育所児童保育要録は施設長が各小学校に持参しており、必要に応じて個別に引き継ぎを行う場合もあります。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			評点(0000)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>登園時の子どもの様子などの情報は、職員間で共有して、日々の保育に役立てています</p> <p>登園した際は視診、検温のほかに保護者から家庭での様子や体調を聞いてシッターノート兼お迎え伝達ノートに記録し、重要事項に関しては朝礼などで職員間で共有しています。体調がすぐれない子どもに関しては、保護者の希望があれば室内活動などに変更し、こまめに検温や体調確認を行っています。あわせて全身状態を良く確認し、家庭でのけがや気になるけががあった場合は、けがの日時、大きさなどがわかるように写真を撮り記録に残しています。また月曜日は週末の様子などを保護者から聞いて、その日の保育に役立てています。</p> <p>子ども一人ひとりの発達に合わせ、基本的な生活習慣が身に付くように援助しています</p> <p>トイレトレーニングは、3歳児クラスに進級する4月1日までの完了を目安に、子どもの発達状況に合わせて対応しています。午睡時間については0～2歳児は13時から14時30分まで、3～5歳児(5歳児は9月まで)は13時30分から14時30分までを目安にしています。眠れない子どもは無理に寝かしつけず、絵本コーナーなどで静かに過ごせるようにしています。眠っている子どもには、無理やり起こしたりしないよう配慮しています。離乳食の進め方については未食票に基づき、保護者と確認しながら、子どもの発達状況に合わせています。</p> <p>降園時には保護者に、その日の子どもの様子を詳しく伝えています</p> <p>お迎え時には3分を目安に、保護者に子どもの様子をできる限り詳しく伝えようという、系列園共通の取り組みである3分間対応を実践し、全ての保育士が引き継ぎを徹底し、日中の子どもの様子をわかりやすく伝えられるように努めています。保育園での様子や家庭での状況を相互に連絡し合うために専用アプリ内のタイムラインや連絡帳の機能を活用しています。0～2歳児は毎日の園での様子を記録して伝え、3～5歳児は個別の連絡事項がある場合に伝えています。</p>			
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している			評点(000000)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当
評価項目3の講評			
<p>子どもが集団生活や遊びに主体的に関われる環境を設定しています</p> <p>年齢ごとの保育室ではなく0～5歳児までがワンフロアで生活し遊んでいる異年齢保育を実践しています。静のコーナーと動のコーナーに分け、静のコーナーでは絵本、ブロック、お絵描き、動のコーナーではマット上での相撲、ボール遊び、リズム体操を子どもたちの意思で選択し、遊びこんでいます。異年齢保育を行うことで、年齢に関係なく同じことに興味を持った子どもたちと関わるができるようになっています。集団に入りづらい子どもに対しては、職員と一緒に入ることで、興味を持って自然と関われるように配慮しています。</p> <p>子ども自らが季節の移り変わりを感じられるように、保育環境が整っています</p> <p>どろんこ会グループでは遊び、労働、食事、休息のサイクルを大切にしています。午前中は毎朝9時頃に散歩へ出発し、太陽の光を浴びて体を動かし、お腹いっぱい昼食を食べ、休息し午後の活動につなげています。地域の里山や寺を訪れて四季の移り変わりを子ども自らが肌で感じています。秋にはどんぐりや松ぼっくりを集め、園での製作で楽しんでいます。また毎日午前中は畑仕事を行っています。土を耕し、苗植え、水やり、間引き、収穫を行うほか、自分たちで育てたものを料理することで自然に季節を感じられるようにしています。</p> <p>異年齢同士での遊びや生活を通して、自分の気持ちを調整する力を養っています</p> <p>年齢の異なる子ども同士で、一緒に仲よく遊ぶこと、思い通りにならないこと、気持ちがぶつかり合うこと、すべて実際に経験します。0～2歳児クラスでは子ども同士のトラブルの際に押さない、噛まないなどのルールを粘り強く伝え続けることで、自分の気持ちを調整する力を育てられるようにしています。3～5歳児クラスでは、ゲームのルールを5歳児が年下の子どもたちに教えたり、小さい子どもの午睡の手伝いをしたり、散歩の時に手をつないで歩いたりなど、ルールを守ることの大切さや、思いやりの気持ちに気づけるように配慮しています。</p>			

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事については、常に子どもにとって何が必要かの観点から計画しています</p> <p>全体的な計画の中で主な行事は、日常の節目としての行事設定という位置付けです。年間行事、体験活動を決める際には毎年、年間行事は白紙から考えます。決まっている行事をこなすのではなく、保育者一人ひとりが「子どもたちにとって何が必要か」を考え、体験させたい内容を計画するようにしています。どろんこ会グループ理念の「にんげん力」を育てるために必要な遊び、野外体験を積極的に行事に取り入れています。遠足、食育体験、シニア交流は毎月行われ、大きな行事としては運動会、どろんこ祭り、生活発表会が予定されています。</p> <p>子どもが協力し合って達成感を味わえる行事を実施しています</p> <p>運動会、生活発表会は子どもたちがみんなで協力して取り組み、達成感が味わえる内容にしています。運動会は近隣の小学校の体育館で実施し、弁当持参で9時から13時まで行われます。分園も参加しプログラムは1か月前に保護者に伝えてあります。今年度は、0～2歳児は親子競技、2、3歳児は玉入れ、4歳児はダンス、5歳児はパラバルーンを披露しました。2歳児からは競争意識が芽生え、4、5歳児にはみんなで協力してできた達成感を味わえました。日常の遊びや、子どもたちが好きな絵本を題材にした生活発表会も企画しています。</p> <p>行事の実施にあたっては、保護者の理解と協力を得られるように努めています</p> <p>どろんこ会グループ園共通の大きな行事に、どろんこ祭りがあります。7月中旬の土曜日午前中に本園と分園の2か所で実施されますが、その際にどろんこサポーターとして保護者十数組にボランティアで店番などをお願いし協力して開催しています。参加者は子ども、保護者、近隣の方々、そして職員です。内容としては園内でゲーム、輪投げ、ヨーヨー釣り、ポップコーン販売、子どもたちが作った梅ジュースの試飲会などがあります。行事当日までの準備の様子は専用アプリのタイムラインで保護者に伝え、行事に向かう高揚感を共有しています。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>降園時間が遅い子どもの気持ちに配慮した保育を実践しています</p> <p>午睡後の15時30分から16時30分までの1時間は、0～5歳児の子どもたちは自由参加で午後の散歩に行きます。散歩後の16時30分からは合同保育になります。絵本コーナーを作り、マットの上でくつろげる環境を設定しています。雨天の場合は危険回避のため、ぎりぎりの時間まで0～2歳児と3～5歳児を分けて過ごすようにしています。異年齢保育でお互いに頼り合ったり、譲り合ったりしながら遊びを展開しています。子どもたちの午後の過ごし方に合わせて職員の配置を工夫し、子どもたちの気持ちに寄り添った配慮に努めています。</p> <p>異年齢の子どもたちが夕方も楽しく過ごせるように配慮しています</p> <p>延長保育は18時から20時までで、分園の子どもと合同で行っています。乳児向けのコーナーと幼児向けのコーナーを設置して、それぞれが好きな遊びを選んでゆったりと過ごせるように環境を設定しています。各年齢の年間指導計画の中にも、長時間にわたる保育の留意事項が記載されています。0、1歳児は家庭的な雰囲気の中で身近な大人とゆったり触れ合う環境作りを工夫し、低月齢児は夕方に睡眠を取る子どものための場所や空間を設けています。2～5歳児は子ども自身が遊びを選択し、落ち着いて遊びこめるように配慮しています。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが毎日、楽しい雰囲気の中で食べることができる食事を提供しています</p> <p>2～5歳児はテラスで食事をしますが、座る場所は子ども自身が選んで好きな友達と一緒に食べます。一緒に食べたい年上の子どものところへ行ったり、年下の子どもを誘ったりして、異年齢で食事をします。バイキング形式で、自分で食べられる量を盛り付けるようにしています。年下の子どもを盛り付けるのは年上の子どもの役割ですが、職員が担当を決めることはしません。毎日、調理職員・保育士が給食開始から終了まで子どもたちのところへ行き、一緒に喫食しコミュニケーションを取りながら楽しく食事ができるような声かけをしています。</p> <p>食物アレルギーのある子どもへは、さまざまな配慮のもとで除去食を提供しています</p> <p>食物アレルギーなどに該当する子どもの保護者には、入園時に除去食申請書を提出してもらい、調理員、施設長、担任と面談をし除去の仕方を相互確認のうえで除去食を提供しています。全職員で提供方法を確認し、提供の際は、個別のトレーに食器も他児と異なるものを使用し、間違いのないように配慮しています。調理職員から提供する保育者へ声を出して確認し、保育者からテーブルにつく保育者へも同じように声を出して確認しています。体調不良の子どもには食べられる物だけにしたり、牛乳を麦茶に代えたりして様子を見るようにしています。</p> <p>畑仕事や食に関する多様な体験を通して、食への関心が深まるように取り組んでいます</p> <p>農業計画として、栄養士や調理食員を中心に全職員で月ごとの年間スケジュールが計画され、植え付ける野菜や収穫する野菜が明記されています。1年間を通して畑に野菜を植え、職員と子どもと一緒に水やりや草むしりをしながら生長を楽しんだり収穫や調理を行ったりしています。テラスのプランターには0～2歳児がにんじん、ほうれんそう、いちご、きんかん、ミントを植えて生長を見守っています。登園時間が早い子どもたちは野菜を洗ったり、たまねぎの皮むき、お米を研いだりという体験を通して、食への関心を深めていけるように取り組んでいます。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>保健計画を基に、子どもが健康や安全に関心を持てるよう援助しています</p> <p>保健計画作成は看護師を中心に行い、子どもが自分の身体に関心を持ち自ら取り組めるようになることを大切に考えて立案しています。年間目標、年間保健計画に基づいて毎月の目標、園児保健指導、日常活動、園会議で保育者に確認、注意喚起することを記載しています。毎月の保健だよりでは感染症の予防や園での対応などの情報を発信しています。全園児に手洗いの指導、2～5歳児には歯磨きの仕方、歯ブラシの毎月の交換を促したりと健康指導、保健指導をクラスの担当職員が行って子どもが関心をもてるように援助しています。</p> <p>専門機関と連携を取りながら子どもの健康状態を把握しています</p> <p>子どもの健康管理においては年2回の予防接種状況、既往歴の確認を行い、毎月の身長体重測定、歯科検診は年1回、健康診断は0歳児のみ毎月内科健診を行い、1～5歳児は年2回行って健康状態を把握しています。嘱託医から保健に関するアドバイスをもらったり、子どもの健康面などで気になることがあれば電話などで相談したりしています。投薬が必要な子どもには与薬依頼票に必要事項を記入してもらい、1回分預かって指定の時間に投薬しています。園で事故、けがが発生した場合は、けが事故発生時対応フローチャートに基づいて対応しています。</p> <p>保護者と連携しながら、子ども一人ひとりの健康維持に取り組んでいます</p> <p>季節ごとに流行する感染症に関しては毎月発行している保健だよりで情報を提供し、園内で感染症が発生した場合には必要に応じて掲示や専用アプリで知らせています。子どもの健康状態は、登園時の受け入れで視診を行い、保護者からも家庭での様子や睡眠、食欲について聞いています。乳幼児突然死症候群の防止については午睡中に生存確認として5分おきに体位確認して仰向け寝を徹底し、布団や毛布の位置確認、バイタルチェック、うつ熱予防のチェックをしてアプリに記録しています。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>専用アプリを利用して、保護者の要望に応えられるように情報を共有しています</p> <p>子どもの保育園での様子や家庭での状況を保護者と共有するために、アプリのタイムライン、連絡帳を活用しています。園の様子はタイムラインにて発信します。保護者の事情による当日の延長保育も、連絡を受けた段階で受け入れるようにしています。夕食の追加予約は午後4時まで受け付けています。また園児管理、登降園管理、保育士配置管理を行うため、毎月20日までに次月の予約カレンダーで来月の予約を入れるようになっていて、24時間予約時間の変更も可能になっています。園児とともに保護者の情報共有も行っています。</p> <p>保護者懇談会や行事を通して、保護者同士が交流できる機会を設けています</p> <p>毎年6月と11月の保護者懇談会では、全体会の次にクラスでの懇談会が行われます。全体会では施設長が園の方針、力を入れていることなどを話します。クラス懇談会では子どもたちの成長報告、半年の目標提示に加え、クラスによってはあらかじめ懇談のテーマを募ることもあります。今年度では、第1回目では保護者から自己紹介で子どもの良いところを話してもらうなど、第2回目では第1回目から今までの子どもの様子や今後の保育のあり方などを伝えています。これらについては、保護者同士が交流できる貴重な機会とも捉えています。</p> <p>園と保護者が共通認識を得る取り組みを行いながら、信頼関係を築いています</p> <p>専用アプリでのタイムラインや連絡ノートで、その日の子どもの活動の様子を保護者が把握できます。送迎時には子どもの体調や変化についての保護者からの聞き取り、どろんこ会グループ共通の取り組みの3分間お迎え対応で、個別に1日の様子を伝えています。職員は保護者とコミュニケーションを取りながら信頼関係を築いています。また実際に保育を見てもらうことで共通認識を持てるように、年間を通して保育参加、個人面談を随時実施し気軽に参加できるように声がけしています。どろんこ祭りでは保護者の中からどろんこサポーターを募っています。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>自然豊かな地域資源を活用して、子どもはさまざまな体験をしています</p> <p>今年度から本格的に子育て支援活動が復活し、ちきんえっぐ地域子育て支援計画表が作成され、市の地域カレンダーにも掲載され利用する親子が増えています。青空保育では近隣の公園での交流、自然食堂では1歳児と一緒に試食、芸術学校では自然物を利用した製作、寺親屋では子育てについての悩み相談を行い、近くの里山に遠足に行ったり、寺の広場で遊んだり地域資源を活用して、五感を使い自然を感じる直接体験を毎日の活動に取り入れています。活動の様子は、毎月発行される子育てサロン情報のちきんえっぐだよりに掲載されています。</p> <p>子どもは地域の方々と日々触れ合い、交流を深めています</p> <p>園では子どもが地域の方々と触れ合う機会を多く設けています。青空保育では月に1回、地域の決まった公園へ出かけて同じ時間を共有する出前保育を実施し、商店街ツアーでは週1回の地域交流のほか子どもに必要な経験を意識して近隣の商店を見学します。世代間交流として高齢者施設を訪問して広いホールで歌を披露したり、小中学生の育児体験、職場体験の受け入れを行ったりしています。また銭湯でお風呂の日は月1回3～5歳児がバスで保育士とともに銭湯へ出かけ、一番風呂に入ります。近隣小学校との交流活動も行っています。</p>		

調査対象

保育園を利用している68世帯を対象に調査を実施しました。在園児は86名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は、Webアンケートシステムを使用し、無記名方式で行いました。案内は施設を通じて利用者へ配付し、集計は評価機関が行いました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	86
利用者家族総数(世帯)	68
共通評価項目による調査対象者数	68
共通評価項目による調査の有効回答者数	32
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	47.1

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が15人(46.9%)、「満足」が14人(43.8%)で「満足」以上の回答は合計29人(90.6%)でした。

自由意見には、「いろいろな経験や体験をさせてくれるので、日々感謝しております」「人数が少ないので、アットホームな雰囲気がいいと思います」「担任以外の先生も、子どものことをよく見てくれています」「送り迎えの際、子どものことについて話す時間がとれています」「連絡帳や送迎時間の登録、記録がアプリ上でできて便利です」「布団を持っていかなくてよい、おむつの記名の必要がないのが良いです」「写真の販売が良いです」「保育園運営の理念・方針がとても良いと思います」「お迎え時に、お忙しい中、子どもの状況を細かく教えていただけるので、ありがたいです」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」「保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか」で100.0%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が見取れます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答・非該当
コメント				
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	32	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「外遊びを重視していただき、また、一人ひとりの性格に合わせて丁寧な保育をしていただき、大変感謝しております」「お兄ちゃん、お姉ちゃんが大好きなようで、異年齢保育でいろいろな刺激を受けながらどんどん成長をしていて、とても楽しそうで助かっています」「普段ももちろんですが、畑やクッキング、のびのび指導など、いろいろな経験をさせてもらっていると思っています」「自分ができるようになっていくことがだいぶ増えていて、嬉しいです」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	31	1	0	0
「はい」が96.9%、「どちらともいえない」が3.1%でした。 自由意見には、「園の中だけでなく、たくさんお散歩してくれていて、その写真がいつもいきいきと楽しそうで、嬉しいです」「水遊び、泥遊び、絵の具遊び、お散歩などなど、いろんな遊びをたくさんさせていただけるので、体の発達にもすごくよさそうで、楽しそうです」「畑や銭湯、のびのび、バス遠足など…、いろいろな経験をさせてくれるのが、とても良いと思っています」「毎日、いろいろな公園に出かけてくださいます」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	29	2	0	1
「はい」が90.6%、「どちらともいえない」が6.3%、「無回答・非該当」が3.1%でした。 自由意見には、「子どもが自分たちで育てたり、作ったりしたものも提供してくれたりしているので、ありがたいです」などの声がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	32	0	0	0
<p>「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「ハロウィンなどで地域の人も交流してくれてるようで、ありがたいです」「系列の園や、畑、里山、様々な公園などの環境にも恵まれて、たくさんの経験をさせていただいて、こんなにいろいろな体験ができる園は、なかなかないのではと思っています」「畑仕事もあり、子どもが植物や野菜に興味を持っています」「畑や系列の園に連れて行ってくださり、自然や野菜、動物と触れ合えます」などの声がありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	27	3	0	2
<p>「はい」が84.4%、「どちらともいえない」が9.4%、「無回答・非該当」が6.3%でした。 自由意見には、「どうしてもお迎えに間に合わない際に、対応をしてくれて助かりました」などの声がありました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	22	8	1	1
<p>「はい」が68.8%、「どちらともいえない」が25.0%、「いいえ」が3.1%、「無回答・非該当」が3.1%でした。 自由意見には、「異年齢交流が盛んなので、事故や感染症について、十分には難しいのかなと感じています」などの声がありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	26	4	1	1
<p>「はい」が81.3%、「どちらともいえない」が12.5%、「いいえ」が3.1%、「無回答・非該当」が3.1%でした。 自由意見には、「全く問題ありません」「行事日程の案内(運動会プログラムなど)が、アプリのお知らせで配布があると、どこでも確認できるのでより嬉しいです」などの声がありました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	28	4	0	0
<p>「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%でした。 自由意見には、「皆さんが真面目に、誠実に対応をしているところが良いです」「何かあれば相談をしやすいです」などの声がありました。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	24	8	0	0
<p>「はい」が75.0%、「どちらともいえない」が25.0%でした。 自由意見には、「蚊が多いのが唯一気になります」などの声がありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	30	0	1	1
<p>「はい」が93.8%、「いいえ」が3.1%、「無回答・非該当」が3.1%でした。 自由意見には、「先生方は親しみやすく、とても話しやすいです」「職員さんたちの対応には満足をしています」「質問に丁寧に答えてくれます」「保育士さんが親切です」「先生方が皆、感じが良いです」「先生が元気で明るいです」などの声がありました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	28	2	0	2
「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が6.3%、「無回答・非該当」が6.3%でした。 自由意見には、「問題ありません」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	25	3	1	3
「はい」が78.1%、「どちらともいえない」が9.4%、「いいえ」が3.1%、「無回答・非該当」が9.4%でした。 自由意見には、「問題ありません」などの声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	29	3	0	0
「はい」が90.6%、「どちらともいえない」が9.4%でした。 自由意見には、「一人ひとりの性格に合わせて、のびのびと育つように、保育をしていただいています」「自己主張の激しい年頃にも、一人ひとりに向き合ってください、感謝です」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	25	2	0	5
「はい」が78.1%、「どちらともいえない」が6.3%、「無回答・非該当」が15.6%でした。 自由意見には、「問題ありません」などの声がありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	32	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「お迎え時に、いつも話をしてもらっています」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	27	3	0	2
「はい」が84.4%、「どちらともいえない」が9.4%、「無回答・非該当」が6.3%でした。 自由意見には、「問題ありません」などの声がありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	16	11	4	1
「はい」が50.0%、「どちらともいえない」が34.4%、「いいえ」が12.5%、「無回答・非該当」が3.1%でした。 自由意見には、「あまり記憶にありません」などの声がありました。				

株式会社 学研データサービス
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都福祉サービス第三者評価機関認証
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
社会的養護関係施設第三者評価機関認証